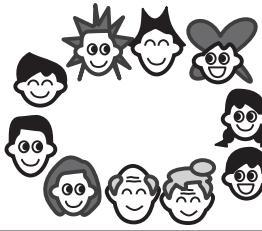


津谷歯科医院 口腔ケア新聞

NPO法人
訪問歯科診療
を広める会
賛助会員



令和8年2月号

発行人:津谷歯科医院

院長:津谷良

住所:岡山市中区海吉1807-14

紙面に関するお問い合わせは下記まで

電話: 0120-779-418

配信代行:訪問歯科診療を広める会

皆さん、こんにちは！いかがお過ごしですか？

津谷歯科医院、院長の津谷良です。

親知らずは、いちばん奥に生えてくる大人の奥歯です。第三大臼歯が正式な名称で、智歯(ちし)とも呼ばれます。親知らずは上下左右に最大4本あり、永久歯がほぼ生えそろった後の20歳前後に、最後に生えてくるのが特徴です。親元を離れた大人の年齢になってから生えてくるため、親がその生え始めを知らないことから「親知らず」と呼ばれるようになりました。親知らず自体が一生ない(歯の芽がない)人は約25%で、何らかの形で親知らずを持っている人は約75%とされています。日本人では顎が小さくなってきた影響もあり、正常に生えないケースが増えていると言われています。今月は、「親知らず」について紹介します。



1. 正常に生える方が少ない

親知らずが、正常な向きできれいに生えてくる人はおよそ20~30%とする報告が多く、残りの人では斜め・横向き・埋伏(埋もった状態)等、トラブルになりやすい生え方と言われています。「痛みがなければ放っておけばいい」とは限らず、様々な問題を引き起こすことがあるので注意が必要です。



スで抵抗力が落ちた時に急に腫れることも多く発熱して食事や会話がつらくなる場合もあります。

(3) 周囲の歯・歯並びへの影響

親知らずが正常な向きで生えるスペースがないと手前の第二大臼歯側に力がかかり、第二大臼歯の根が溶けたり、歯並びが少しずつ乱れてくることがあります。見た目の歯並びの変化だけでなく、噛み合わせのバランスが崩れて顎の関節に負担をかける場合もあります。

(4) 顎関節・顎の痛み

親知らずが傾いて生えて噛み合わせが乱れると、顎の筋肉や関節に負担がかかり、口の開閉時の痛み・音等、顎関節症状の一因になることがあります。強い炎症が起きると、咀嚼筋が痛み口を開けにくくなることもあります。

親知らずが原因の①繰り返す腫れ・痛み ②隣の歯のむし歯・歯周病・根の吸收 ③顎の痛みや嚢胞(袋状の病変)は、進行すると親知らずの抜歯とともに治療となるため、早期に歯科を受診してください。

2. 親知らずが原因のトラブル

(1) むし歯・歯周病

親知らずは一番奥にあるため歯ブラシが届きにくく、むし歯や歯周病になりやすい歯です。また親知らずのむし歯や歯周病が進行すると、手前の第二大臼歯までむし歯・歯周病・骨の吸収でだめになることが多いので早期発見早期治療が重要です。

(2) 智歯周囲炎

斜めや横向きに半分だけ生えている親知らずでは、歯ぐきとの境目に汚れが溜まりやすいため歯ぐきが腫れて強い痛みや膿、口が開けにくい等の症状(智歯周囲炎)を繰り返します。体調不良やストレ

◆ 親知らずのある場合は定期的にレントゲンと診察で経過を観察しましょう ◆

口腔ケア新聞の発行にあたって



ここ数年、外来患者さんやそのご家族から訪問診療のお問い合わせやご依頼を受けるケースがとても増えてきました。小さなご病気されてしまったことがキッカケで、寝つきになってしまわれたりして、「いつもお元気でいいですね」と話をしていたのに…。そんなことが続いたので、これは本格的に訪問診療に取り組まなければいけないかなって、強く思いました。

そこで取り組みの一環として、要介護者の歯と口に関する情報を地域の介護に携わっている方にお届けしようと考え、口腔ケア新聞を毎月1回発行しています。

津谷歯科医院

診療時間 9:00~12:30 / 14:00~18:30
(土曜日は16:30まで)

診療科目 歯科 小児歯科

休診日 木曜・日曜・祝祭日

院長 津谷 良

岡山市中区海吉1807-14

0120-779-418 FAX 0120-779-413